

東洋英和女学院大学大学院

2010年度前期入学試験

春季選抜 問題

人間科学研究科 修士課程

(社会・社会福祉学)

専門分野

修士課程 社会・社会福祉学関連分野（専門問題）

各自の専門領域・関心のある分野との関連で、下記の8問から3問を選び、それぞれ500字から600字程度であなたの考えを簡潔にまとめて述べなさい。

- 問題 1 生活保護の受給世帯は、従来は高齢者世帯や傷病者、障害者世帯が占める割合が大きかったが、ここ数年は稼働能力を残す世帯の割合が増加していると指摘されているが、このことから判断して生活保護制度の運用の諸問題について、あなたの考えを簡潔にまとめて述べなさい。
- 問題 2 今日、女性の労働力が質的量的に増大すること等を背景に、保育のニーズの増大・多様化が顕在化されているが、新たな保育所の在り方について、あなたの考えを簡潔にまとめて述べなさい。
- 問題 3 「措置」から「契約」へという社会福祉基礎構造改革以降、高齢者福祉分野では、在宅介護分野を中心として、株式会社、特定非営利法人（NPO法人）などの多様な実施主体が社会福祉サービス分野に参入しているが、その意義について、あなたの考えを簡潔にまとめて述べなさい。
- 問題 4 ボランティア活動は、近年では、従来の福祉分野を越えて、環境・災害被害者支援などの様々な分野での活動が行われ、住民の福祉活動への参加やボランティア活動への関心は高まりを見せているが、さらにボランティア活動を推進するためにどのような取り組みを行うことが望ましいのか、あなたの考えを簡潔にまとめて述べなさい。
- 問題 5 日本の離婚に関する近年の言説に、「熟年離婚が増えた」というものがある。図表1-1, 2は、日本の近年の離婚動向を、同居期間別および年齢階層別にみたものである。この図表が示していることについて、あなたの考えを述べなさい。

- 問題 6 昨年、日本の相対的貧困率が発表され、日本における経済的格差が話題になった。図表2は、子どものいる家庭の相対的貧困率が、所得の再分配の前と後でどのように変化するかをみたものである。この国際比較データでみた日本の特徴、このような状況が生じる理由、問題の解決策について述べなさい。
- 問題 7 図表3は、雇用されて働いている日本の男性について、週あたりの労働時間が35時間未満の者の割合、および60時間以上の者の割合の経時的変化を年齢階層別にみたものである。このデータが示している日本社会の問題、また、それに対してどのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。
- 問題 8 図表4-1, 2, 3は、日本人の男女別・年齢階層別・配偶関係別自殺率、中高年の男性自殺者の配偶関係別割合、男性の年齢別未婚率を示している。日本の男性の自殺問題についてこれらの図表が示していることを、簡潔にまとめて述べなさい。

図表 1-1

図表 1-2

図表 1-1, 2 はともに湯沢雍彦・宮本みち子著『新版 データで読む家族問題』
日本放送出版協会 2008 年による。

图表 2

図表 3

図表 4-1

図表 4-3

図表 3, および図表 4-1, 3 はともに湯沢雅彦・宮本みち子著
『新版 データで読む家族問題』日本放送出版協会 2008 年による。
図表 4-2 は, 厚生労働省「第 5 回自殺死亡統計」(2005 年) により
出題者が作成。